

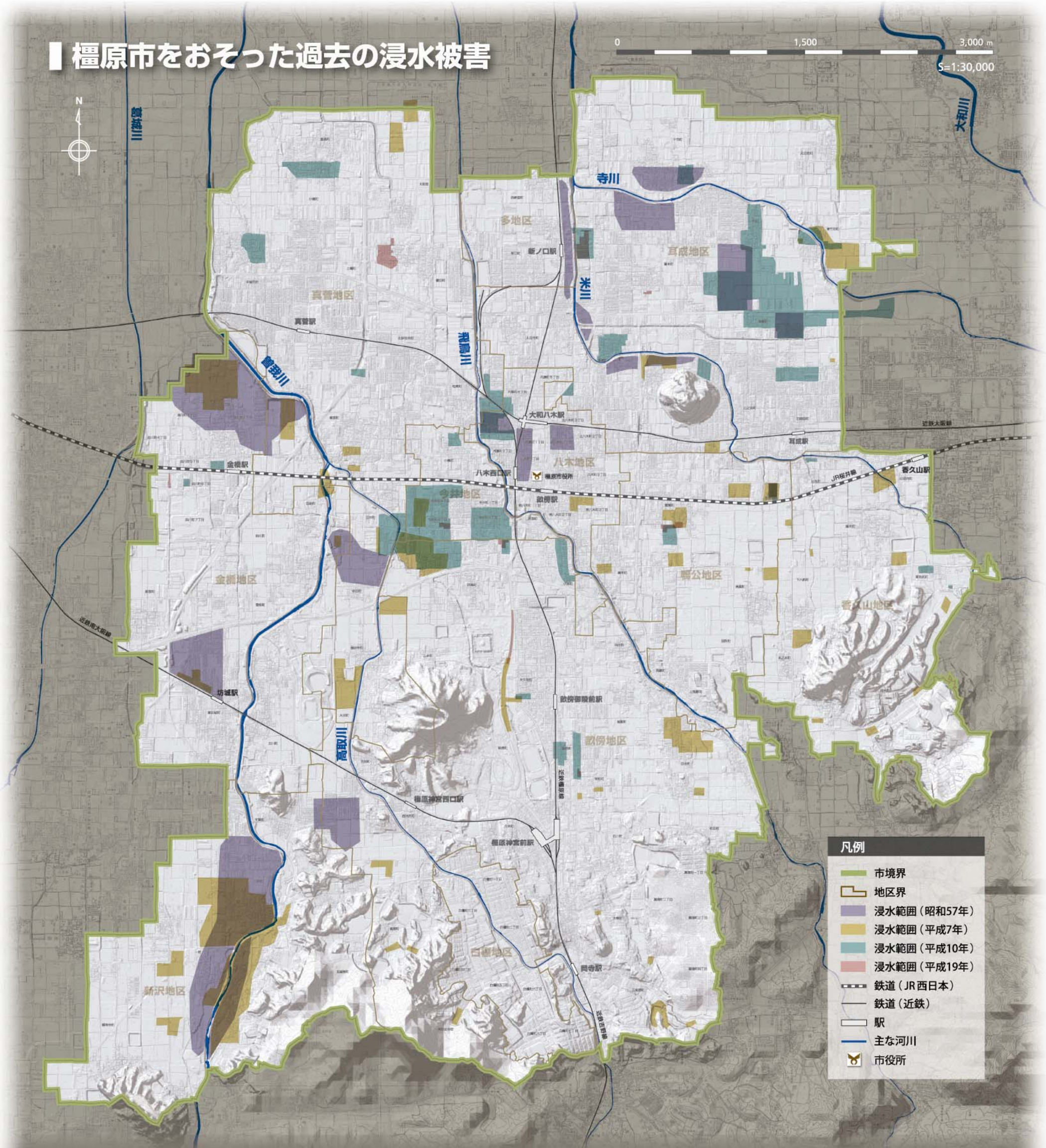
過去に起こった水害を知ろう

橿原市では、過去に4回（昭和57年8月、平成7年7月、平成10年8月、平成19年7月）の大きな水災害がありました。ここでは、水防活動の記録などから整理した床下浸水以上の浸水範囲を図示しました。それぞれの災害時に観測された雨量とあわせて見ると、最大1時間雨量が50mm以上の集中豪雨による被害と長い時間降り続いた雨による被害では、浸水が起こった場所が異なっていることがわかります。また、過去の被害の多くは、道路側溝、小河川、水路や下水道から雨水があふれ出したことによる浸水被害です。日ごろから近くの小河川や水路を知っておき、大雨時には近づかないよう注意してください。

災害年月日	降り始めからの総雨量	最大1時間雨量	雨の降り方
昭和 57年 7/31~8/3	349 mm	29 mm	長雨型 4日間で350mmの長雨が続きました。
平成 7年 7/3~7/6	199 mm	27 mm	長雨型 3日間で200mmの長雨が続きました。
平成 10年 8/27	119 mm	66 mm	ゲリラ豪雨型 1時間に50mm以上の雨が降りました。
平成 19年 7/16~7/17	90 mm	33 mm	

※雨量は、田原本観測所（気象庁）の観測結果より。

■ 橿原市をおそった過去の浸水被害



橿原市過去の洪水の様子

橿原神宮参道



畝傍地区



耳成地区



香久山地区

